



東京精神保健福祉士協会の回顧と展望

-今、これからの精神保健福祉士に問われること、期待すること-

日時
場所

2023年

6月3日（土）13時30分～16時30分

AP 西新宿；新宿区西新宿 7-2-4

新宿喜楓ビル5階 B, C

記念企画にあたって

本協会は1962年に発足した【精神病院ソーシャルワーク連絡協議会】にさかのぼります。その後、1971年に【東京PSW研究会】に名称変更され勉強会等を中心に活動していました。1992年には精神科領域のソーシャルワーク専門職団体として【日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会東京都支部】が設立されました。そして、2000年4月には、国家資格化にともない【東京精神保健福祉士協会】に名称を改め、2013年に一般社団法人格を取得しました。

発足当初は圧倒的に精神科病院で働くソーシャルワーカーが主でしたが、現在は地域の支援機関だけでなく、産業、教育、司法や様々なメンタルヘルス対策へと領域が広がってきています。精神保健福祉士の国家資格化から23年、協会法人化から10年が経ち、本協会は行政からの業務委託や施策検討の参画への要請も増えてきています。本企画では、これまでの本協会の歩みを振り返り、さらにクライアントや社会の要請に応えることができる協会と発展していくよう会員のみなさんと考えていきたいと思っております。

プログラム

1部：「今、これからの精神保健福祉士に問われること、期待すること-」

(13時45分～14時30分)

講師：大塚 淳子氏（帝京平成大学人文社会学部教授）

2部：シンポジウム「協会のあゆみとわたし」（14時40分～16時30分）

シンポジスト：関原 育氏（特定非営利活動法人ホットスペース）

松永 実千代氏（社会福祉法人 特別区社会福祉事業団）

他1名（調整中）

コーディネーター：大塚 淳子氏

大塚淳子氏 プロフィール

1987年3月明治学院大学大学院社会学専攻修士課程卒業後、身体障害者事業所へ6年半勤務。1993年4月医療法人社団一陽会陽和病院入職、2001年10月ころのクリニック石神井へ異動。2004年7月～2014年3月日本精神保健福祉士協会常務理事。2014年4月帝京平成大学健康メディカル学部、2018年4月～同人文社会学部人間文化学科。

公益財団法人日本精神衛生会理事、日本病院・地域精神医学会監事、公益社団法人日本精神神経学会多職種協働委員会委員、一般社団法人TICC監事、東京都・中野区・練馬区の自殺対策総合対策会議等委員、東京都犯罪被害者等支援施策検討会議委員、豊島区障害福祉計画策定・評価委員会委員、同人誌「精神医療」編集委員など。

申し込み方法

下のURL また QR コードにアクセスして、申し込みフォームよりお申し込みください。

参加形態は、「会場参加」「オンライン参加（ズーム）」の2通りとなります。

会場参加希望者が座席数を上回った際は、オンライン参加をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

【参加申し込みフォーム】

<https://forms.gle/WDwzNPJqmqHRaGXP7>

※参加フォームは一般社団法人東京精神保健福祉士協会年次総会にも使用します。

非会員におかれましては、10周年記念のみのお申込みをお願いいたします。



お問い合わせ（メールでお願いします）

一般社団法人 東京精神保健福祉士協会

新宿区大久保 1-1-2 富士ビル4F 日本障害者センター内

メールアドレス：jimukyoku@tokyo-psw.com